

また、下水道区域外の地域においては、合併浄化槽設置整備事業補助制度を活用し生活環境の向上を図ってまいります。

●水道事業についてであります。水道施設更新基本計画に基づき、昨年度から浄水場建設工事に着手し、簡易水道事業におけるインフラ整備を進めてまいります。

また、適正な施設管理のもと、安全で安定的な水道水の供給が確保されるよう努めてまいります。

●交通安全対策についてであります。昨年8月15日に交通死亡事故が発生し、1名の尊い人命が失われたことは、大変残念なことであります。悲惨な交通事故の撲滅に向け、町交通指導員の皆様や関係機関・団体と密接な連携を持ちながら、町民一人ひとりが「事故に遭わない・事故を起こさない」との基本認識のもと、家庭・職場・地域が一丸となった交通安全運動を継続してまいります。

●防犯対策につきましては、特殊詐欺等による高齢者を狙った悪質な事件が、次々と手口を変え巧妙化し発生している実態から、高齢者の多い本町におきましても憂慮すべき状況にあると認識しております。

今後、連合町内会や防犯協会・警察等と連携し、高齢者世帯の見回りや声かけを行いながら、地域主体型の活動を支援し、子どもたちや高齢者が安心して生活できるまちづくりに努めてまいります。

●消防体制につきましては、現状の施設資材を適正に維持管理し、更なる消防体制の充実強化を図りながら、地域住民の生命・財産を守り、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。

●交通の確保につきましては、生活バスの運行は、通学や通院、買い物など交通弱者の日常生活に必要不可欠なものであり、バス事業者への支援に努め

てまいります。

また、町内から町外の高校に通う高校生に対し、バス定期運賃の一部助成を継続してまいります。

●防災減災対策につきましては、昨年は、本町に大きな被害をもたらす災害の発生はありませんでしたが、「地域防災力」を高めるため、町と町内会等が一体となって関係機関と連携し、防災・減災意識の向上に努めてまいります。

●国道・道の整備につきましては、道路改良や適正な維持管理について、関係機関に要望してまいります。

●国道におきましては、越波・土砂災害等の対策として長年の要望により事業化された、花岡、大椋間3.7km区間の道路の嵩上げ工事である国道232号小平防災の整備促進をはじめ、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」に基づいた、災害対策・老朽化対策・デジタル化等の推進について今後、要望してまいります。

●道におきましては、大椋線と交わる苦前小平線の改良に向け、引き続き要望してまいります。

●移住・定住対策につきましては、本町の人口も減少の一途を辿り、加えて少子高齢化が進んでいる状況にあります。

過疎化の進行は基幹産業の衰退、地域コミュニティの崩壊などの面で大きな影響が想定されます。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全国的に移住を考へる機運が高まっており、この機を逸することなく本年度は、移住フェアへ参画し、移住のPRを進めてまいります。また、「空き家、空き地バンク」の情報充実を図るほか、居住環境の情報発信を進めてまいります。

## 福祉施策

●子ども・子育て支援につきましては、重点施策の一つであり、人口減少対策の柱であります。令和2年度よりスタートした「第二期小平町子ども・子育て支援事業計画」に基づく取組みにより、安心して子どもを産み育てることができ、安心なまちづくりを推進してまいります。

本年度におきましても、引き続き効果的な施策として、乳幼児医療費の全額助成や、子育て世帯への経済的支援である「紙おむつ・パンツ廃棄支援」、仕事と子育ての両立を支援するため、子どもの放課後の時間帯において開設する「放課後児童クラブ」及び「小平幼児センター」での保育、託児事業に対する支援など、子育て世帯への切れ目のない支援体制の充実を図ってまいります。

支援などの生きがい対策を推進し、健康寿命の延伸に努めてまいります。また、これまで実施しております「交通費助成事業」、「緊急通報サービス支援事業」、「高齢者雪害対策支援事業」など、日常生活を直接支える各種の支援や見守り活動等を通じて、高齢者の生活支援に一層配慮してまいります。

●障がい者支援につきましては、障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、引き続き、障がい福祉サービスによる日常生活支援や就労支援に努めるとともに、障がい者を支える環境づくりを推進し、共に生きる社会の実現に努めてまいります。

主な施策内容	予算額
乳幼児等医療費助成(拡大分)	5,724千円
高齢者社会活動参加ポイント事業	669千円
高齢者交通費助成事業委託	3,288千円
高齢者宅除雪支援事業	933千円
緊急通報サービス委託	2,298千円
障害者相談支援事業委託	1,300千円
高齢者宿泊助成金	300千円
町保育・託児事業補助金	6,915千円
学童保育事業	3,785千円

●高齢者対策につきましては、高齢者の方が、可能な限り住み慣れた地域で、いきいきと自立した生活ができるよう、各種健康づくり事業や介護予防事業の充実及び老人クラブ活動に対する

## 医療・介護施策

●昨年度は、新型コロナウイルス感染症の脅威から町民を守るため、ワクチン接種を希望した2千584人の町民に対し、昨年10月末までに2回の接種を行いました。年が明け、ほどなく、ワクチンの効果を凌駕する新たな変異ウイルス、オミクロン株が猛威を振るい、留萌管内におきましても、大規模なクラスター感染が発生したほか、国内はもとより、道内における新規感染者数も、連日、過去最多を更新するなど、極めて厳しい感染状況となりました。

こうした中、当町におきましては、既に1月19日から町内高齢者施設の入所者を対象に開始しております3回目の追加接種を、国からの指示のもと、順次、接種間隔を前倒しして進めており、4月の第2週頃を目途に、接種を希望する町民皆様への接種が完了できるように、全力を尽くして進めてまいります。

引き続き、国及び道、また関係機関と緊密な連携を図り、最大限の注意を払いながら、新型コロナウイルス感染症